

EEW-Takusu -IDC 「緊急地震速報インターネット情報サービスセンター」

緊急地震速報情報配信センター



緊急地震速報の情報は配信を行うシステム、センター機能で情報の内容が大きく違ってきます。(人々の大事な生命に関係する情報です。)



第一サーバ群

緊急地震速報配信演算サーバ
EEW-Takusu IDC-West

【EEW-Takusu-IDC】Tokyo

■演算・配信サーバ

気象庁からの緊急地震速報(予報)を基に、気象庁推薦の演算方式を用いてお客様の地点における予測震度と主要動の到達時間の演算、(地盤増幅率なども演算に含まれる)

- ・閾値を超えたお客様に情報を配信する。
- ・お客様の端末の監視・異常検知、通報
- ・情報の受信・演算・送信記録、課金顧客管理

第二サーバ群

緊急地震速報配信演算サーバ
EEW-Takusu IDC-East

【EEW-Takusu-IDC】Osaka

■演算・配信サーバ

気象庁からの緊急地震速報(予報)を基に、気象庁推薦の演算方式を用いてお客様の地点における予測震度と主要動の到達時間の演算、(地盤増幅率なども演算に含まれる)

- ・閾値を超えたお客様に情報を配信する。
- ・お客様の端末の監視・異常検知、通報
- ・情報の受信・演算・送信記録、課金顧客管理

インターネット



UDP/IP SCB方式の配信



Takusu 社内監視センター

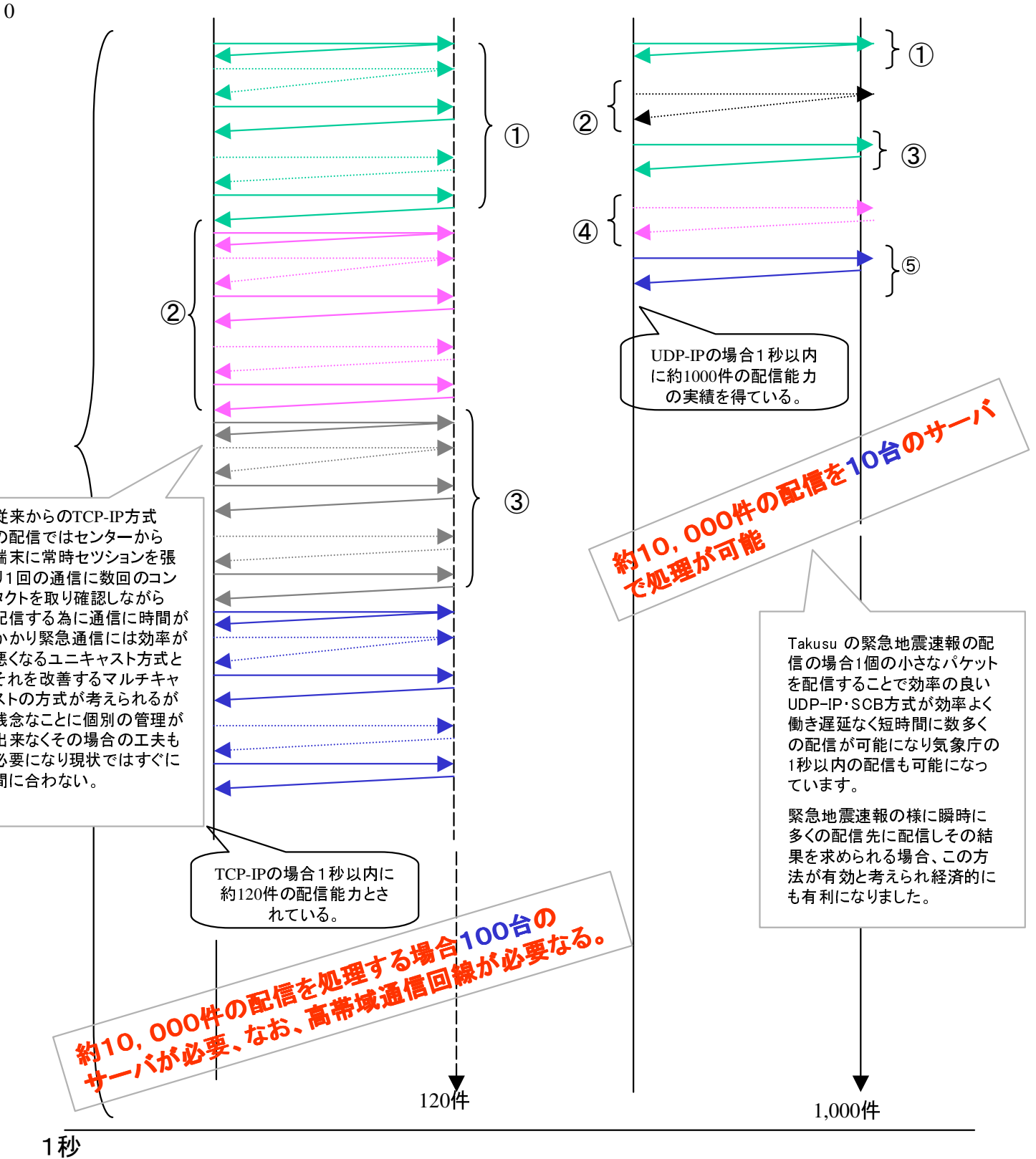
常時社内から遠隔でコントロール可能な状態で維持監視を行っています。



Takusu の新方式の配信はTCPの一般的な配信の10倍の能力を実現しています。
 又、帯域を占有することなく通信回線の効率を上げています。
 UDP-IP・SCB方式は特許出願済です。

TCP-IP方式

UDP-IP・SCB 方式



情報配信のセンター機能は、Takusu株式会社と電力系及び通信系の情報センターにハウジング契約を行い、自社のサーバ群を設置しセキュリティ等緊急地震速報の配信維持を行っています。

【電力グループならではの電源設備】

- 信頼性の高い受電方式、冗長化された無停電電源装置(CVCF)、非常用発電機。万が一の停電は、瞬時にCVCFが給電し、さらに30秒以内に非常用発電機が稼働します。
- 非常用発電機の長期稼働のための燃料確保体制も万全です。

【災害に強い堅牢なファシリティ】

- 大地震が発生しても「ビル免震システム」、「フロア免震システム」が地震の揺れを抑制。サーバールーム内に設置したお客さま機器へ影響を与えません。
- サーバールーム、電源設備等は2階以上に設置。万が一の河川氾濫等による水害対策も万全を期しています。

【効率的な空調環境】

- サーバールーム内は床下吹上式を採用し、コンピュータ制御により温度・湿度をコントロール。各ラック内への確実なエアフローで安定したシステム稼働環境を実現しています。
- 大型貯水プールを冷媒とした環境にやさしい地冷システムを採用。循環方式により、有事の際に断水しても継続運転します。

【万全のセキュリティ】

- 強固なセキュリティシステムにより、お客さまの大切なIT資産をお守りし、事業継続を確実にサポートします。
- 24時間365日、データセンターへの入退館を有人警備により行なっています。
- サーバールームへの入退室は認証カードに加え生体認証により行なっています。
- 動き検知機能付き監視カメラが、サーバールーム内の人の動きを検知して自動記録します。

• 静脈認証装置

【機器を守る消火システム】

- 超高感度煙感知器により、極僅かな煙を感知し、火災発生を未然に防止します。
- システム機器に影響を与えない「ガス式消火設備」を採用しています。

【使いやすいユーティリティ】

- 通常のデータセンターに比べ、通路幅を広く確保したラックレイアウトは、サーバ機器等の設置やメンテナンス性に優れてい環境を確保します。
- 開放感のある広いユーティリティスペースには、ミーティングテーブルや会議室を設置されています。

•ハウジングサービス

- ハウジングサービスとは、Takusu社のサーバ機器等システムを収納するラックをご提供されています。そのラックに緊急地震速報の情報の受信演算、解析、配信、顧客管理システムの維持を行っています。

•専用接続サービス(帯域保障型)

- 回線は、契約した1.5Mbps～100Mbpsのインターネット回線を、専用で利用し上下回線対象の帯域保障型サービスです。負荷に対応した帯域幅を確保しています。